

もっ たいないごはん

原小学校 四年 ゆ はれる

「おかわり！」

ぼくは、給食で白ごはんがたくさんのごっこ。ていると、二回はおかわりします。

何でこんなにおいしいのに、みんなたくさん食べないのかなという気持ちと、捨てるごっこがもっ たいないという気持ちがあります。

ごはんがのこると、給食を作ってくれた人やお米を育ててくれた人が、悲しむと思います。す。

もし、せんそうや災害にあつて、食べられない人たちが、のこったごはんを捨てるのを見たらどう思うでしょう。きつと、「食べたかったな。もっ たいない。」と思うでしょう。

ぼくたちが、かんたんにごはんを捨てるごっこができるのは、「まだあるから」とか「また食べられる」と思っているからです。作ってくれた人やあなたえられていくことへの感し

の気持が足りないからです。

また、ごはんを捨てると、生ゴミもふえ、生ゴミをもやすのにたくさんのエネルギーが必要で、地球のかんきようも悪くなります。

そこで、ぼくはどうかやったら、みんなごはんをのこさず食べられるかを考えてみました。学校の給食では、ここまででは、食べるのこしをへらせるようにがんばろうと日ひようを決めます。毎日食べるのこした生ゴミの重さを量り、グラフに記録します。

生ゴミゼロの日ひようを達成できたら、クラスのみんなでごほうびにお楽しみ会をします。そうすれば、みんながんばってのこさないように食べることができます。

家では、あまったごはんをチャーハンやピラフにリメイクして食べています。

ぼくものこった白ごはんをおいしく楽しみながら食べられる新メニューを考えてみました。特に、おいしくできたのは、すりおろした長いもとチーズとウインナーを焼いて、白

ごはんにかけて長いもドリアです。トロトロ
で白ごはんがすすんでおいしかったです。
ぼくの住んでいる原には、田んぼがたくさん
あります。いねを植えているところや、い
ねの成長、お米のしゅうかく作業を見ること
ができます。手間がかかっているし、お米作
りは、大変そうだなと見ていて感じます。
ぼくもようち園のころ、お米作りを体験し
たけど、お茶わん一ぱいの白ごはんができる
まで苦ろうしました。

だから、お米を作ってくれている人に対し
て感謝の気持ちをおすれないていたいです。
これからは、ごはんをのこさない工夫とあ
りがとうの心で毎日の食事を楽します。せ
んそうや災害で苦しんでいる人たちのことを
思うと、ごはんが食べられることは、当たり
前のことではないからです。